

# 資料No.2

江田島市交流定住促進協議会  
令和4年3月23日

## 令和4年度江田島市当初予算について

### 1 概要

新型コロナウイルス感染拡大による地方移住への関心の高まりを契機として、昨年1月末に移住・定住ポータルサイト「hodohodo」を開設した。また、空き家バンク物件をVRで内覧できる仕組みを同サイトに取り入れ、実際に現地内覧せずに物件を確認することができるようになった。これにより、令和3年度の空き家バンク成約件数及び移住世帯・移住人数は、平成28年度以降では最高値となる見込みである。

令和4年度は、この流れを加速するべくポータルサイトの改修を行い、地域課題や地域貢献に取り組む意欲的な都市部の若手人材の移住・定住の促進に取り組む。

また、引き続き、移住交流拠点施設「フウド」を主体に空き家バンク内覧案内、移住者相談、移住者・リモートワーカーと地域住民との交流など、幅広く移住・定住を促進する取組を行う。

### 2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内 容	予算額
交流定住促進事業	市交流定住促進協議会補助金	フウド事業を始めとする市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。	6,799千円 (5,411千円)
	ポータルサイト・空き家バンクVR運営費	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ移住関連情報を総合的に提供する。サイト及びVR運用に係るサーバー管理料。	396千円 (27千円)
	移住・定住支援補助金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。(上限額300千円) 市内の民間賃貸住宅に市外から移住の子育て世帯に対し、補助金を交付する。(上限額120千円) 移住検討時の片道交通費や宿泊費を補助する。(上限交通費20千円、宿泊費5千円)	3,500千円 (2,880千円)
	【事業廃止】 おためし暮らし住宅事業	【廃止理由】 コロナ禍でR2・3年度はほぼ休止状態にあり、民間にゲストハウス等が多く開設されたため。	【事業廃止】 (980千円)
	移住定住フェア出展及び会議等出席のための旅費	首都圏開催の県定住フェア等に参加し、本市のPR及び移住希望者への相談対応等を行うための旅費。移住・定住、空き家活用関連会議出席のための旅費。	392千円 (502千円)